

アクセス方法
 <電車>
 新宿から 中央線「立川駅」→青梅線「立川駅」
 →「羽村駅」下車徒歩15分
 <車>
 中央自動車道八王子JCT→日の出IC
 →福生・羽村方面（約15分）

memo



小さな旅 ホームページ
<http://nhk.jp/kotabi>

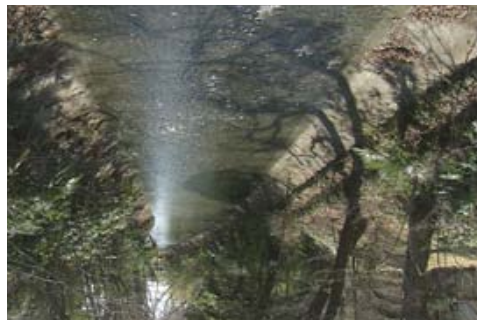
小さな旅

～30年 こころのふるさとをみつめて～

コブック vol. 48

江戸の水路は 桜色
 ～東京 玉川上水～

2012年4月22日（日）放送



羽村取水堰（せき）から下流へ約1キロ。武蔵野の原風景が今も残り、羽村市街から見た玉川上水の流れです。川に覆いかぶさるようにコナラなどの木々が生え、土手沿いは、遊歩道や公園として利用されています。現在は、玉川上水が完成してから90年後に、元々の水路が決壊するおそれが出たため、流路を変えて新しく掘ったところから、「新堀」と名付けられました。こうした武蔵野の面影は、随所に見られます。

武蔵野の面影

旅の見どころ 3



玉川上水沿いの上手には、西から東へ約1キロに延びる桜並木があり、羽村市街から見た玉川上水の流れです。川に覆いかぶさるようにコナラなどの木々が生え、土手沿いは、遊歩道や公園として利用されています。現在は、玉川上水が完成してから90年後に、元々の水路が決壊するおそれが出たため、流路を変えて新しく掘ったところから、「新堀」と名付けられました。こうした武蔵野の面影は、随所に見られます。

桜並木

旅の見どころ 2

旅の見どころ 1

羽村取水堰（せき）

羽村取水堰（せき）です。ここで、多摩川の水をせき止めて、玉川上水へと取水していきます。この堰は、江戸時代から続く「投げ渡し」と呼ばれる技術が今も使われています。投げ渡しは、丸太や砂利を積み上げて作った堰で、洪水などで水量が増えたときに、とり払うことで、せき止めていた水を多摩川へと逃がし、玉川上水の水門や土手の決壊を防ぐことができます。

